

神奈川県保健医療計画 進捗状況評価調書

<項目>

第5章 医療従事者の確保・養成

第3節 歯科医師、薬剤師、その他の医療・介護従事者

とりまとめ担当課：医療課

1 課題に対するこれまでの取組実績

|  |
|--|
| <p>(1) 歯科医師</p> <p>ア 在宅歯科医療提供体制の強化（医療課）</p> <p>→ 在宅歯科医療の地域の拠点として在宅歯科医療中央連携室（1箇所）、地域連携室（県内25箇所）を設置し、歯科医療機関における在宅歯科医療の充実を促進するとともに、在宅歯科診療を必要とする県民を歯科診療の受診に結び付けることによって地域包括ケア体制の整備を図っている。</p> <p>イ オーラルフレイル対策の強化（健康増進課）</p> <p>→ 地域の歯科医師に対して、オーラルフレイル対策に必要な知識・技術を習得するための研修会を開催した。（H30：3回）</p>   |
| <p>(2) 薬剤師</p> <p>→ 麻薬等医薬品の適正な使用に関する薬剤師向けの講習会。（H30：7回）</p> <p>→ 健康サポート薬局に係る技能習得型研修会（H30：4回）</p>  |
| <p>(3) その他の医療・介護関係者</p> <p>ア 医療人材の養成について（医療課）</p> <p>→ 県立保健福祉大学・大学院における専門教育を通じて、質の高い保健・医療・福祉人材の養成を図った。</p> <p>→ 実践教育センターなどにおける現任者教育・研修を通じて、保健・医療・福祉人材の資質向上を図った。</p> <p>→ 県立保健福祉大学の施設や機能の活用により、地域社会への貢献の充実を図った。</p> <p>イ 介護人材の現任者教育の充実と専門性の向上</p> <p>介護支援専門員をはじめ介護関係者等の人材養成による量的確保とともに、資質と専門性を高めるため、研修実施団体等を支援した。</p> <p>→ 介護支援専門員実務研修の実施（H30：1回）</p> <p>→ 主任介護支援専門員研修の実施（H30：1回）</p> <p>→ 介護支援専門員多職種連携研修の実施（H30：2回）</p> <p>ウ 歯科衛生士の養成・確保等に関する取組み</p> <p>→ 歯科衛生士養成校が設置する研修用設備（気管内吸引設備、生体モニター、自動体外式細動器）を用いた研修を支援した。</p> <p>→ 復職を希望する歯科衛生士に対して、復職に必要な知識・技術を習得するための講習会を開催した。（H30：1回）</p> |

## 2 参考指標の推移

| 指標名 | 単位 | 神奈川県内 |     |     |     |     | 参考指標を設定した理由 | 備考 |
|-----|----|-------|-----|-----|-----|-----|-------------|----|
|     |    | H30   | R 1 | R 2 | R 3 | R 4 |             |    |
|     |    |       |     |     |     |     |             |    |

## 3 課題ごとの進捗状況の評価

### (1) 歯科医師

| 評価   | A ・ (B) ・ C ・ D   |
|------|---|
| 評価分析 | <ul style="list-style-type: none"> <li>地域連携室の設置以来、関係他職種間の顔の見える関係の構築が進み、在宅歯科医療の意識の向上も図られている。さらに、オーラルフレイル対策に対応できる歯科医師の人材育成・確保に向けた取組みを推進した。</li> </ul>   |
| 評価理由 | <ul style="list-style-type: none"> <li>平成26年度からコーディネーター数は順調に増加しているが、急速に進む高齢化とともに、在宅歯科医療のニーズは高まるものと想定される。更なるコーディネーター数の促進を図る必要がある。</li> <li>また、オーラルフレイル対策への対応ができる歯科医師の数は少ないものの、研修会の実施や様々な媒体を活用した周知により、興味を持って頂くきっかけになっていると考えるため、比較的順調に進捗している。</li> </ul> |

### (2) 薬剤師

| 評価   | A ・ (B) ・ C ・ D   |
|------|---|
| 評価分析 | <ul style="list-style-type: none"> <li>薬剤師向けの在宅訪問薬剤管理等の講習会により、在宅医療に携わるための薬剤師の知識向上の成果を得た。</li> </ul>       |
| 評価理由 | <ul style="list-style-type: none"> <li>在宅医療における薬剤師の参加促進のため各種講習会等の取組を着実にを行い、課題に対して比較的順調に進捗している。</li> </ul> |

### (3) その他の医療・介護関係者

| 評価   | A ・ (B) ・ C ・ D  |
|------|--|
| 評価分析 | <ul style="list-style-type: none"> <li>主任介護支援専門員研修等を実施し、介護支援専門員をはじめ介護関係者等の人材養成による量的確保とともに、資質と専門性を高めることができた。</li> <li>県立保健福祉大学・大学院や実践教育センターなどにおける教育や研修等を通じて人材の養成を図ることができた。</li> <li>高齢者等の生活の質のための在宅歯科医療の推進に向け、質の高い歯科医療を提供できる人材を育成した。また、復職を希望する歯科衛生士の人材育成・確保に向けた取組みを推進した。</li> </ul> |
| 評価理由 | <ul style="list-style-type: none"> <li>実践教育センターなどにおける教育や研修等を通じて保健・医療・福祉人材の資質向上を図るとともに、県立保健福祉大学において、施設や機能の活用によ</li> </ul>   |

|  |   |
|--|---|
|  | <p>り、地域社会への貢献の充実を図ることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特に、介護関係者等の人材養成については、人材の養成確保や人材の現任者教育を充実させるなど、課題解決に向けて比較的順調に進捗してきている。</li> <li>・ また、歯科衛生士のための口腔咽頭吸引に関する研修会（計2回）参加者見込み100人のところ実績98人。生体モニター、自動体外式細動器を用いた研修会（計2回）参加者見込み100人のところ実績91人と、研修会（計4回）の参加見込み数に至らなかった。講習会に参加した者の満足度は高く、多くの方が復職につながったが、講習会自体の参加者数が伸びなかったため、やや進捗が遅れた。</li> </ul> |
|--|---|

#### 4 総合評価

| 評価       | 評価理由  |
|----------|---|
| <b>B</b> | <p>超高齢社会が進むことによる医療ニーズの増加への対応や、講習会の参加者数が伸びない項目があるなどの課題はあるが、研修会や講習などの取組みにより、人材育成・確保は比較的順調に進捗している。</p> |